



2023年3月22日

各 位

会社名 株式会社 日本 触 媒
代表者名 代表取締役社長 野 田 和 宏
(コード番号 4114 東証プライム市場)
問合せ先 コーポレート・
コミュニケーション部長 西川 朋孝
(TEL 03-3506-7605)

2023年3月期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2023年2月6日に公表いたしました2023年3月期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 連結業績予想について

2023年3月期 通期連結業績予想値(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上収益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A) (2023年2月6日時点)	440,000	26,500	31,000	21,000	528.92
今回発表予想(B)	420,000	21,000	23,500	17,000	428.07
増減額(B-A)	△20,000	△5,500	△7,500	△4,000	
増減率(%)	△4.5	△20.8	△24.2	△19.0	
(ご参考)前期実績値 (2022年3月期)	369,293	29,062	33,675	23,720	594.86

2. 連結業績予想修正の理由

2023年3月期の第4四半期は、アクリル酸及びアクリル酸エステル、高吸水性樹脂などにおいて、需要減退や顧客の在庫調整などによる販売数量の減少が想定以上となることに加えて、電子情報材料についてもディスプレイ需要の回復の遅れにより関連製品の販売数量が減少することから、2023年3月期の売上収益は、2023年2月6日時点の業績予想値(以下、前回予想値)に対し200億円減収の4,200億円となる見込みです。

営業利益は、生産・販売数量が減少したことや、電子情報材料の一部の製品で減損損失を計上する見込みとなったことなどにより、前回予想値に対し55億円減益の210億円となる見込みです。この減損損失については、ディスプレイ関連需要の回復には暫く時間を要すると判断したことから、事業環境の変化に伴い収益性が低下した製品について事業計画を見直し、固定資産に対する将来の回収可能性を検討した結果、2023年3月期第4四半期において約15億円を減損損失として計上する見込みとなったものです。

これに加えて、為替差益や持分法による投資利益が減少したことにより、税引前利益は、前回予想値から75億円減益の235億円、親会社の所有者に帰属する当期利益は、40億円減益の170億円となる見込みです。

3. 配当予想について

2023年3月期の期末配当予想につきましては、前回予想の1株当たり90円から変更はありません。

(注) 上記の予想数値は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の数値は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上